

令和5年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 田中学園
八潮ちくみ幼稚園

当園ではこの度、令和5年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び、学校関係者評価を実施いたしました。教職員自己評価では、教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を客観的に振り返ることにより、自身や園全体を見つめ直す非常にいい機会となりました。

また、学校関係者評価では、園の関係者の方から貴重なご意見をいただき、大変参考になったと教職員一同考えております。これらの結果を活かし来年度以降の更なる教育活動の充実、教職員の資質向上に努めていきたいと考えております。

I. 教育目標

教育理念

未来を背負う 健康で 明るく 元気な子ども達を育成し 地域社会に貢献する

教育内容

ちくみ幼稚園では、「楽しみながら身につける」をモットーに、生活上のしつけを基本に、運動・音楽・知育とバランス良く教育をおこなっています。また、年間を通して楽しめる行事をたくさん開催し、その中から先生は、一人ひとりの子どもの「すごい」や「個性」を発見し、たくさんほめて、さらに伸ばすよう努めています。

教育目標

遊びや保育を通して「思いやりのある心」「自立心」「好奇心」「探求心」を育て
諦めずに主体的に取り組む力を身につける。

II. 今年度の重点目標

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくための姿勢を身に付けることを重点項目とする。また、自園の長所と短所をしっかりと認識し、特色を活かした教育を行っていくための土台を作る。

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 小さな作法の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ●小さい年齢だと、言葉は覚えていても実際にできてはいない子も多い、年次や個々の成長に合わせて意味が理解できるように、指導を続ける。 ●保護者の方とも「小さな作法」を共有し、家庭でも行ってもらう事で習慣化するよう、協力を仰ぐ。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めは、朝の会や帰りの会でしっかりと伝えるようにしている。 ・2学期になってくると、お話を聞くとき等、子どもたちの意識が低下した際や、お友達とけんかになってしまった時等、タイミングを見て適宜小さな作法の確認を行う事が多い。 ・言葉だけでなく視覚でもわかるように、紙芝居形式や絵カードを作成するなどの工夫が見受けられる。 ・教職員の中で意識できなかったという声は全くなく、各自が様々な方法を考えつつ実践している。 ・保護者の方との共有の為に、「おうちの人にも教えてあげてね」という声掛けを意識的に行ったという声もあったが、保護者の方との共有まではなかなか難しかった、取組み不足かもしれないという声も一部からは上がった。
2 教職員体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時の対応を学びたい、保育に関する研修を増やして欲しいなど、各人が課題と感じている内容が異なる為、なるべく多く要望に沿った研修を実施する、また情報の提供を行う。 ●運動担当の増員を検討する。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月に安全対策の研修を実施した。こども目線で園内のリスクとなる環境を学ぶ事が出来たため、参加者の大多数から非常に有意義であったとの意見が集まった。 ・各自が必要な知識を学ぶため、外部に研修に出ることも出来ている。 ・体調不良等でクラスの先生が不在になる時の対応やクラス運営について、今後検討を深めていきたいとの意見があがっている。 ・園外の研修にもっと参加したいという意見や、安全対策は時代と共に変化しているので、継続的に学びたいという声がある。
3 バスの安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ●安全運航の徹底の為、バス運転手へのルール徹底を行う。 ●添乗員と運転手とコミュニケーションを密に取る。 ●清潔に保つため、靴の泥を落とす等の工夫を検討する。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転手さんの研修を実施し、マナーや子どもたちへの接し方の再確認を実施した。これまで以上にコミュニケーションを図る事もでき、安全対策は強化できたとの意見が多かった。 ・他園でのバスの事故も大きなニュースとなった為、運転手と職員のダブルチェックをしっかりとルール化し、全員に周知徹底を行った。 ・ルールやマニュアルの見直しを行い、今年度はしっかりと遵守できている、今後もしっかりと継続していくと共に、新しく入る職員・運転手にも内容を共有していく事が必要である。
4 感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ●従来通り、換気・清掃などを徹底的に実施する。 ●毎朝の健康観察フォーム・メールのルールを守っていただくよう、保護者の方に再度周知する。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる規制が緩和されたが、今年度も継続的に、「うがい・手洗いの徹底」、「教室の換気・消毒・清掃」などの感染症対策はしっかりと実行する事が出来ている。 ・一部教職員から、嘔吐処理や排泄処理に手間取ったという意見が出ている為、ルールやマニュアルを再度徹底したい。

令和5年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 田中学園
八潮ちくみ幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
5	安全対策	●AEDやエピペンを実際に、使用できるようになる。	B <ul style="list-style-type: none"> ・AED、エピペンは講習会を実施したり、練習用のものを使っての実践等を行っている。 ・担任を中心にエピペンの使い方はかなり浸透してきている。 ・ただし、特にAEDは使用機会が全くない事から、いざ一人で実施すると不安があるという意見が多く出ている。 ・講習に参加できなかった人もいる為、エピペンもAEDも理解度に少しバラツキが出ている。
6	災害対策	●緊急時マニュアルの確認を全員が行う。 ●災害時を想定しての保護者への引き渡し訓練や、不審者対策方法など、これまで以上に検討を進める。	B <ul style="list-style-type: none"> ・例年通り避難訓練や防災訓練はしっかりと実施する事が出来ている。 ・子どもたちにも「おはしも」のルールを伝えて実行している。 ・来年度から引き渡し訓練を実施する計画を立てて、保護者の方にカードを提出してもらうなどの準備を行っている、今年度は間に合わなかったが、大きく進展はあると考えている。 ・緊急時のマニュアルについて、確認したという声もあったが、一部期中入職の方やパートさんから、見たことがないという声が出てしまった。

【評価の基準】

A	十分達成されている	C	取組まれているが、成果が十分でない
B	達成されている	D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	小さな作法の徹底	●園内での徹底はできていると感じている。保護者の方との情報共有を進め、家庭とも連携して推進をしていきたい。例えば園便りにて掲載するとか、園での様子を伝える機会を増やしてはどうかという意見が出ている。 ●行事前の忙しい時期などに、1日1つでも言うようにする。
2	教職員体制の充実	●安全対策については、今年度もしっかりと取り組めたが、万が一大きなケガをしてしまった際の対応など、さらに知見を増やしたいという意見があがっている。 ●体調不良等で、担任が不在にある時の対応についての検討が必要。 ●スケジュールの都合や体調不良等もある為、全員が必ず研修に参加できる訳ではない為、研修を欠席してしまった場合の情報共有方法をしっかりと構築する。
3	バスの安全対策	●今期作ったルールをしっかりと継続していく。 ●靴の泥を落としてからバスに乗る事を、しっかりと伝える。
4	感染症対策	●現状ほとんどの者がしっかりと出来ていると考えている為、気を抜かず継続する。 ●換気対策の窓の開閉を忘れないように徹底する。 ●泡石鹸の検討や、バスでの嘔吐処理用のバケツなど、都度出てくる細かな課題にしっかりと対応する。
5	安全対策	●AEDやエピペンの使い方を、毎年度しっかりと確認する。 ●誰が理解していて、誰が理解していないのかを把握する表を作成してはどうか。若しくは研修・講習への参加者をしっかりとリスト化し、誰が理解できていないのかを園全体として把握する必要がある。
6	災害対策	●緊急時マニュアルの確認を毎年全員が行えるよう徹底する。 ●現在計画中の引き渡し訓練を次年度しっかりと実施する。 ●火事・地震以外のケースを想定し対策を話し合う、不審者対策の防犯訓練やさすまたの使用方法の講習の実施、災害時にバスが運行できない場合の対応や、正課だけでなく課外の時間での災害対策も検討したい。

V. 学校関係者の評価

日時:令和6年3月(書面アンケートにより実施)
出席者:保護者3名

- 園が自己評価で設定した目標・計画は適切であったか。: 全員が「適切」との判断となった。
 - 目標や計画をたて、それを教職員全員で共有し、取り組んでいてとても良いと思います。
 - 6項目あらゆる角度や視点、時代の背景にも合った目標・計画であった。又、時代が変化しても変えていけない大事な部分がつまった「小さな作法」の継続指導もありがたい。
 - 年長になると、「小さな作法」を子どもがちゃんと理解し、相手への向き合い方が変わったと感じます。
 - 安全・感染症対策に関しては、教室や共同スペースがいつも清潔に保たれており、先生方の気遣いが感じられる。
- 評価結果の内容は適切であったか。: 全員が「適切」との判断となった。
 - 先生方の率直な評価内容で、次につながる反省がなされていると思います。
 - 具体的かつ客観的に、何が出来て何が出来なかったのか明確化されているため、3の今後取り組むべき課題が計画しやすいと感じました。
- 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか。: 全員が「適切・概ね適切」の判断となった。
 - 在園中に大きな災害はなかったが、もしもの時の為に、保護者側の園とのマニュアルや、引き取り訓練のようなものが欲しかったように思う。
 - 八潮ちくみ幼稚園は規模が大きく、その分課題も多くなる。6項目ありそれぞれに取り組むべき課題が違うので優先順位を決めて、月単位で課題へのアクションを進めていく事も有効かもしれません。
- 今後園に期待することを教えてください。
 - 園での安全対策・災害対策の講習会や訓練などを、もっと発信して頂けると保護者の意識も高まると思います。
 - 引き渡し訓練は今後毎年実施できるようにと願います。
 - AEDの使い方や、人工呼吸・気道確保・異物の除去などいざという時の応急手当は、自分自身も久しぶりだとドキドキします。園で年1回救命講習開催ができればうれしいです。希望の保護者も参加できると非常にありがたい。
 - たくさんのカリキュラムを実施して下さいありがとうございました。